



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

夏のふじやまはひそかに変身中ですよーお楽しみに！

緑がぐんと濃くなったふじやま公園は、その下で刻々と真夏に向けて変身してきました。まず、季節を待ちわびた昆虫たちがいます。公園の農芸部のボランティアが7年続け、もう数千匹に達したスズムシはカメや飼育箱の壁や竹炭をよじ登ったりして歩き回っています。



それに加えて、今年はカブトムシの育成も行っています。さなぎから育てたカブトムシは成虫になり、ふじやまの森へ飛び立っていきました。子どもたちにとってカブトムシを捕まえるという新たな楽しみが増えるのですが、年配の人たちにも幼い頃、親に連れられて砂糖水を木に塗った懐かしい思い出を蘇らせてくれることでしょうか。砂糖水を前夜のうちに塗っておいて、翌朝早く起きてそこに群がっているカブトムシを見つけるのが楽しみだった…という数十年前のシーンを思い出す人が多いでしょう。



ちょっと変わったところでは、渋柿に甘柿の枝を接ぎ木しています。成功しても甘い柿がなるには数年かかるかもしれません。…そんな変身がいっぱいのふじやま公園をぜひ訪れて下さい。

スズムシ差し上げます

スズムシをご希望の方は、プラスチックの昆虫ケース持参のうえ事務所まで。“スズムシの育て方マニュアル”もついているので、初心者でも安心して育てることができます。



有名なアリとキリギリスの寓話を思い出した。何年かに一度という大規模な植栽の剪定が古民家ゾーンで行われた時のことだ。その後、刈った後の枝をボランティアが30cmほどに切りそろえているのを見た。廃棄するのにそんなに丁寧に切り揃えることはないのに…と思ったら冬のいろりに使う薪にするのだという。夏の間十分に乾燥させて、秋から冬のイベントに備えているのだ。何でも使えるものだし、早くからの準備も必要なのだ。昔からの慣習が受け継がれている空間だとも感じた



梅雨時の風物詩 梅もぎ

桃のような甘い香りが梅林一帯に漂い始めた6月初旬。梅雨時恒例行事となった梅もぎが行われました。

斜面にブルーシートをかけ、竹の先にくぎ抜きを括り付けた特製の道具で梅の木をゆすって収穫した梅がなんと130kg。



今年の梅もぎは薄曇りの天候の中行われ、雨にはたたられませんでしたが、木の下で集荷しているスタッフの頭の上には固い梅が雨あられのように襲い掛かっていました。

こうして収穫された梅はその日のうちに選別され、傷のない大きな梅だけが塩漬けにされ、古民家の土間で土用干しの日を待っています。



ご覧ください！本郷ふじやま公園の総合案内図

公園の総合案内図が新しく生まれ変わりました。パステル調の色合いの総合案内板は元大橋口、鍛冶ヶ谷口の入口や弓道場の駐車場に設置しており、来園者の方々からは解りやすくなり、里山を散策する目標が決めやすくなったと好評です。

散策路に表示された道標は5か所あり、居場所確認のため有効に利用しているとの声も聞かれます。小さな草花に季節の移ろいを感じながら、心をときめかせ里山の散策路を歩いたり、古民家では、柱や板の間、囲炉裏に触れて、故郷を想い昔を楽しんでいただいています。

このほか、公園事務所ではふじやま公園の散策路や四季の花々を紹介したリーフレットも配布しています。これらも活用しながら四季折々で姿を変える散策路を回り、ふじやま公園の新たな魅力を再発見していただきたいと思います。



ミソハギ ミソハギ科

野山の湿原や田んぼなどに自生する多年草。乾燥に弱く湿った場所を好む。花期は7月～8月、旧暦の盆のころ咲くところから盆花として仏前に供える地方が多い。株立ちして高さ1mくらいになる。上部で枝分かれし、紅紫色で花弁は6枚の小さな花が集まって咲く。花が終わる頃、根本から切戻しておくとしばにまた新芽が出てくる。古民家前庭の花壇に植栽してあるが、毎年減りつつある。



古民家の植栽が一新

ふじやま公園の古民家が開設されて以来10余年過ぎ、古民家ゾーン内外の植栽はたくましく育ちました。今年6月中旬に、これらの樹木の剪定を行いました。樹木の枝を切り、形を整え、風通しを



良くすることで、生長が促進され見た目も美しくなります。



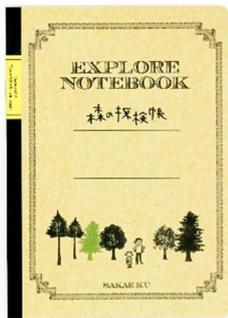
剪定前



剪定後

今回は日本庭園のスタジイ、長屋門脇のタギョウショウ(多行松)、主屋裏のニッケイやシラカシなどの剪定が行われ、樹形は勿論、風景までも一新し、夏に向けてすっきりしました。

『森の探検帳』をもって、森へ行こう



栄区は豊かな自然に恵まれ、さまざまな植物や昆虫などを観察することができます。そこで栄区では、森や自然に興味を持ち、豊かな自然環境を守り育てていく人を『さかえ森のサポーター』として認定しています。環境学習イベントなどでもらえる「森へ行こう」シールを3枚集めると認定されます。小学生の皆さん、子ども工作や昆虫採集で公園に来た時は、区内の森を紹介した『森の探検帳』とシールを管理事務所でゲットし、森のサポーターになりましょう。詳細は窓口で。

『いろいろ辺雑記』 から (原文のまま)

- ・暑いので風通り気持ちよかったです。昔の道具などもあり、歴史を感じました。夏休みも行きたいと思いました。(市内、10代、仲間と)
- ・3歳の子供と来ましたが、とても驚きました。すてきな古民家、実家を思い出します。また、来たいと思います。(20代、家族と)



平成27年8月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	7日(金)	古民家歴史部会 部会	9日(日)
農芸部会 部会 作業	17日(月) 月曜日 木曜日	古文書解読勉強会 歴史探訪	休みます 休みます
里山部会 作業	休みます	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
工作棟部会 部会 子ども工作準備	12日(水) 適時	広報部会 ふじやまだより編集会議 印刷	8日(土) 13日(木)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	30日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子供工作	8月16日(日) 10時～11時 " 13時～14時	端材の板を使ってペン立て作りを楽しもう(小学生対象)	無料	当日先着順 各10名
七宝	9月4日(金) 13時～15時	フリットを使ったペンダント	600円	8月21日(金) 10名
遊布	9月16日(水) 13時～ 15時30分	着物地で帽子 (持ち物:お針箱)	1,000円	9月5日(土) 10名
初心者茶道 体験教室	9月19日(土) 13時～16時	茶道をとおして和の心に親しむ(持ち物:白いソックス)	500円	8月31日(月) 5名
フラワー アレンジ	9月24日(木) 13時30分～ 15時30分	プリザローズのシックな秋色リース (持ち物:はさみ、持ち帰り袋)	2,500円	9月9日(水) 8名
布ぞうり作り	9月25日(金) 10時～15時	一日で一足完成します	700円	8月31日(月) 15名
里山の そば打ち塾	9月26日(土) 10時～12時	美味しいそばが打てます。 自分で打ったそばの試食	800円	9月12日(土) 6名
伝統工芸 「鎌倉彫」を彫る(全3回)	9月27日(日) 13時～16時 10月4日(日) " 10月11日(日) "	平皿に「ブドウ文」を彫ります	2,000円	8月31日(月) 10名

(1)応募要領: 往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品: 返信はがきで連絡します



・・・お知らせ・・・

★ いろいろ端むかし話の会

いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時: 8月20日(木) 10時30分～11時30分 場 所: 古民家主屋いろいろ端

定 員: 15名 当日参加自由 無料

★ 寺子屋6 里山談義(里山資本主義)

日 時: 9月12日(土) 13時～15時30分 場 所: 工作棟

定 員: 15名 申込み: 往復はがきで8月25日(火)までに 多数の場合は抽選

★ 『ふじやま公園に咲く花』を配布しています

本紙150号記念特別付録『ふじやま公園に咲く花』は、散策のお供にご好評をいただいています。このリーフレットをご希望の方は事務所窓口へお申し出ください。無料で差上げます。

★ 6月ふじやま公園来園者数 1,227名 平成27年度累計 7,388名

・開館時間: 9時～17時
・入館料: 無料
・休館日: 毎月第1水曜日(8月5日)
・クリーンアップ: 毎月第1・3火曜日10時～11時(8月4・18日)

★本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL: 045-896-0590

FAX: 045-896-0593